

厚生消防常任委員会要点記録

日 時	令和6年12月6日（金）	開 会	10時00分	会議時間
		閉 会	12時17分	2：10
場 所	委員会室			
出 席 者	宮委員長・渋谷副委員長・長谷委員・前田委員・矢野委員・野沢委員・小林委員 傍聴議員：吉永議員・生本議員・柏野議員・新岡議員			
説 明 者	副市長、生活環境部長、保健福祉部長、子ども未来部長外36名	傍聴者数	0人	
事 務 局	議会事務局長、議会事務局次長、議事担当主査	記 者	2人	

会 議 の 経 過 事 項

小路生活環境部次長	委員長が開会を告げ、傍聴の許可をし、議事日程について説明する。			
	● 1. 所管事務調査について 1) 報告事項 ・ 事故等発生（処理）報告について 【質疑】 なし 日程 1. 所管事務調査について終了			
秋 葉 警 防 課 長	● 2. 消防本部・署関連 1) 報告事項 資料説明⑮ 札幌市との消防通信指令事務の委託に関する規約の締結について			
朝倉防火推進2課長	資料説明⑯ 乙種防火管理者講習の開催について			
吉本島松出張所長	資料説明⑰ A R 災害疑似体験アプリ（A R ゴーグル）の導入について			
高 野 救 急 課 長	資料説明⑱ 産科研修会の開催について			
前 田 委 員	【質疑】			
	① 資料⑰現在市としてもデジタル化を推進計画をもって進めておりこのA R			

吉本島松出張所長	ゴーグルは防火意識の向上に大変有効だと考えている。運用状況に町内会の防火訓練とあるが、運用開始が10月頃からではあるが、これまでいくつかの町内会でどのように運用されたのか、お伺いします。
前田委員	① 町内会の防災訓練での活用実績としては1件です。一人ずつの体験であり、体験できる人数は限られているが時間の許す限り参加者に体験してもらいました。
吉本島松出張所長	② 装置一式で高価なものだが体験は1人で限られた時間です。どのような要領で各町内会等いろいろな訓練の場で使ってもらえれば良いか。有効利用方法、出前講座等で指導していただけるのか、お伺いします。
吉本島松出張所長	② 町内会等の防災訓練での活用は消防から提案しています。今後について、消防訓練事業者が行う消防訓練などは要請あつてのことではあるものの、消防から提案させていただく中でどれくらいの需要があるかを踏まえて今後の取扱いについて検討したいと思います。
澁谷委員	① 資料⑰例えばこの会議室で火が出たというような設定はできるものなのか、お伺いします。
吉本島松出張所長	① 火災消火体験、煙体験とアプリに2種の設定があり、更にこの部屋を設定し火災の初期消火が行える火災の状況や、さらに拡大した規模であるとかパターンが複数あり、設定に応じた体験ができます。
渋谷委員	② 町内会でどこか場所を設けてこの事業を行うときに、その場所での煙体験などが可能になるのか、お伺いします。
吉本島松出張所長	② 屋外では無理ですが、屋内であればどこに出張しても部屋、空間があれば体験可能です。
海老消防長	1) 報告事項終了
	2) その他所管事務調査について
	【質疑】
	なし
海老消防長	令和7年消防出初式、1月11日市民会館3階中ホールで開催いたします。厚生消防常任委員会委員の皆様に案内いたしますのでご参加の程よろしくお願ひいたします。
	日程2. 消防本部・署関連終了
	● 3. 生活環境部関連

	1) 報告事項 資料説明① 交通安全関係業務の見直しについて 資料説明② エコバス路線・ダイヤ等の見直しに係る検討状況について 資料説明③ 恵庭第4墓園整備計画の見直しについて 資料説明④ 悪臭に関する苦情等の状況及び悪臭防止法に係る測定結果の概要について 資料説明⑤ ゼロカーボン・ロードマップの取組について 資料説明⑥ 恵庭市焼却施設高反応消石灰購入事業について
桑原生活環境課長	
菊地戸籍担当主幹	
東脱炭素推進課長	
中山廃棄物管理課長	
	【質疑】
矢野委員	① 資料⑥近隣自治体ではどのような金額、状況で発見されたのか、お伺いします。
中山廃棄物管理課長	① 教科書、指導書の関係で全国的に発覚しました。本市は地方自治法の関係からで2千万円ですが、他市では3千万等があると聞いています。教科書、指導書の関係から調査を行い、発覚したものです。
矢野委員	② 2千万円の基準について昨今の物価上昇に伴い、金額を見直す考えがあるのか、お伺いします。
山本ゼロカーボン推進室長	② 地方自治法と市条例で2千万円と定めています。全庁的に全ての契約に関わる部分であり、総務の契約の判断することになるかと思いますが、金額の考え方を含めて庁内で検討して参ります。
前田委員	① 資料①交通安全児童指導員がどのような体制で指導しているか、小学校の中に、松恵小がない理由についてお伺いします。
	② 資料②令和4年から6年の利用者、利用収入についてお伺いします。
桑原生活環境課長	① 会計年度任用職員9名を任用し指導員として登下校時に活動しています。雇用は10名の予定でしたが不足分はシルバー人材センターに委託しており、4期40日間の交通安全運動期間は町内会の交通安全普及員やPTAなどの団体も一緒に街頭指導を行っています。松恵小は現在、交通安全指導に立っていませんが交通安全運動期間中は町内会が交差点に立って指導しています。
	② エコバスの利用者数について、令和4年度は約31万8,000人、令和5年度は約35万7,000人であり過去最高でした。今年度は10月末現在で20万1,000人程、令和5年度の10月末と比較すると約10%上回っています。運行収入は、令和4年度は約5,140万円、令和5年度は約5,800万円、こちらも令和5年度が過去最高となりました。今年度10月末現在では約3,350万円となっており、こちらも令和5年度の同じ時期と比較しますと約10%増となっているところです。
前田委員	① 交通安全については、業務委託をすることでより質の高い指導や交通安全教育ができるということですが、委託することによりどういうことが期待できる

	のか、お伺いします。 ② その中で、市内の交通安全事業を実施している団体とありますが、どのような団体が今想定されているのか、お伺いします。 ③ エコバスについては、31年の改編後に非常に使い勝手が良くなったという認識ですが、ただ市民のニーズとしては利便性と所要時間のバランスが大事だと思います。新規路線の設定で、恵庭駅東口から島松駅まで現行ルートでどれぐらいの縮小、時短を見積もっているのか、お伺いします。
桑原生活環境課長	① 市内で交通安全事業を実施している団体に委託を考慮しており、その団体が持っている専門知識やノウハウの活用、団体の会員等の人材を活用することにより、より質の高い業務が期待できるものであると考えています。 ② 恵庭市内では交通安全協会、交通安全児童指導員会、交通安全運動推進委員会などの交通安全に関わる団体が活動していただけていますが、そういった団体等とも協議しながら、業務委託できるのか検討していきたいと考えています。 ③ 現状Aコースで62分、Bコースで41分かかっている状況です。新規路線については、1月に開催する公共交通活性化協議会において、協議して決定する予定となっているので、あくまで目安になりますが、新路線を利用した場合は、おおむね最短で25分程度の所要時間になると想定しています。
前田委員	④ 新規路線の設定の中に、各JR駅で既存路線との乗り換えを可能にすると思いますが具体的にどういう要領なのか、教えてください。
桑原生活環境課長	④ 別添で示している通り、既存の路線と別のルートを通るところが多いため、各駅で新規路線と既存路線の乗換券を発行し、乗り換えできるようにすることで、今協議会で検討しているところです。現状も恵み野駅では乗換券を発行し、西口と東口で乗り換えできるもので、そのような形で使えるように、検討しているところです。
小林委員	① 資料①委託料がどの程度になるのか、人員の不足が課題ということですが、委託することにより人員などが確保でき、交通安全の指導の質も向上していくことが可能になると思いますが、例えば安全箇所を増やしたり人員を増加していく考えがあるのか、伺います。 ② 資料③計画の見直しで市外在住者への貸付検討ということですが、具体的にどのようなことが検討されるのかをお伺いします。 ③ 資料⑥認識されていなかった原因及び確認の徹底について、今後の対応について、どのような形で徹底を図っていくのか、具体的にお聞きします。
中山廃棄物管理課長	③ 原因としては、単価契約ということで契約の中で、あくまで単価が設定価格を上回らないかが主眼として契約事務がなされており、その中の総額で設計金額が2,000万円の動産であるということが抜けていたのが原因と考えています。確認の徹底については、議会の議決に付さなければならない財産の取得基準について全庁で確認して、契約事務手続きに関する様式を改正するな

桑原生活環境課長 菊地戸籍担当主幹	ど、チェック体制を強化すると聞いていますし、原課としても予算要求段階から議決を要する案件について把握することを対策として考えています。 ① 委託料は概ね1,300万円から400万円の委託料ということで考えています。また立会いの指導箇所と人員増加についてですが、この場所については各小学校と協議して決定していますので、その協議の中で場所の増加または変更なども協議しますので、その中で考えていきたいと思っています。
野 沢 委 員	② 市外に貸し付けられるのは第4墓園で、ある程度残区画もありますが、特別会計から一般会計に変わることもあり、市外者に対して今後も貸し付けしていくのか検討していきたいと考えています。特に、自由墓所4平米の区画が貸付できる残区画が8区画ですので、今後貸付については考えていきたいと思っています。 ① 資料②既存ルートの中でこれまで様々な要望等に対応できなかったため、新規路線をつくるということですが、既存のルートを残しながら新規路線をつくるのか、既存のルートはそのまま新規路線ができるのか、既存ルートが縮小になりダイヤの変更をして新規ルートができるのかなど、どのように検討されているのか、お聞きします。 ② 新規ルートに伴って、例えば病院や商業施設の近くにバス停をという要望がある程度解消になるようなルートになっているかと思いますが、例えば新規ルートと既存のルートが繋がらないため乗り換えなどがあるのか、また時間帯がどうなるのか、全体的なバランスがどうなるのか、お聞きします。
桑原生活環境課長	① 既存ルートについては、現状の循環ルートで停留所もそのままかつ、2か所バス停を増やすことで考えていますが、現状、各バス停に毎時同じ時間にバスが来るというこのパターンダイヤについては、全国的にバスの運転手不足などもあり、札幌などでは減便がかなりある雇用状況になっており、運行体制の問題として休憩時間を増やしてほしいという要望があるので、恵庭駅で15分休憩を取るというダイヤになっていくと思います。そうなるとパターンダイヤの維持が難しくなるため、運行本数が変わってくるところです。新規ルートは駅で既存ルートと接続し、今通っていないルートへ走る考えでルート設定しているところです。 ② JR駅を乗り換えの起点として今まで恵み野駅だけ乗り換えできたところを、3駅で乗り換えできるように検討し、新規のルートにより利用者の目的地も増えるため既存ルートと新規ルートをうまく使っていただければと考えています。ダイヤについては今検討中で、市民のニーズとしてはいろんなところに停まってほしい、本数増やしてほしいと。ただ運行上の課題としては、運転手不足や雇用の条件を良くしないと人も集まらないため、運行が困難になっていくことも予想されます。そのあたりのバランスを協議しながら、ダイヤを考えていきたいと思っています。

野 沢 委 員	③ せっかくできた以上は、皆さんがもっと利便性が良くならなければなりませんからしっかり検討していただきたいと思います。新規ルートによってバスの台数はどう変わるのでしょうか。運転手不足で休憩時間をたくさん取ったとしても、人材確保はどうなっていくのか。それから、既存ルートから乗って新規ルートのバス停に降りたい場合、乗り換えについては各駅を中心となると、ダイヤの関係についても必ず乗り換えに繋がるようなバス路線やダイヤ編成になるのかどうか、確認したいと思います。
桑原生活環境課長	③ エコバスの台数は、現状の既存路線がAルート、Bルート3台ずつ計6台で運行している状況です。新規路線については、時計回りと反時計回りで1台ずつバスを運行するというところで今検討しているところです。 人材確保は運行会社と密に連絡会議などを行い協議をしていますが、やはり近隣の状況も報道もあるように、なかなか人材確保は厳しいと言われていますが、協議の中では、運行会社に人材の確保は何とかできると聞いています。 最後に乗り換えの関係ですが、既存路線と新規路線については、やはり周回する距離数が違いますので、そこで時間が合わないというのが出てくると、3駅で乗り換えとなると、一つの駅に合わせると違う駅でまた待つ時間があるとか、調整が難しいところもありますので、バランスを考えながらなるべく利便性が高まるようにしていきたいと考えています。 1) 報告事項終了 2) その他所管事務調査について 【質疑】 駐輪場に関して、JR4駅の中でサッポロビール庭園駅の実質利用率と管理の状況はどうなっているのか、実態だけ教えてください。 サッポロビール庭園駅については、今指定管理による駐輪場の管理ということで、指定管理者が見回りなどと整理を行っているところで、利用台数としましては、概ね1日あたりの台数が15台前後の利用台数となっている状況です。 日程3. 生活環境部関連終了 <u>11時07分 休憩</u> 11時14分 再開 ●日程4. 保健福祉部関連 1) 報告事項 資料説明⑦ 令和7年度国民健康保険税率について
根岸国保医療課長	

小路介護福祉課長	資料説明⑧ 加齢性難聴者の補聴器購入助成事業（案）について
須貝保健課長	資料説明⑨ 令和6年度介護サービス基盤整備事業者の公募結果について
	資料説明⑩ 第3次恵庭市健康づくり計画（素案）について
	資料説明⑪ 第4次恵庭市食育推進計画（素案）について
	資料説明⑫ 第2次恵庭市自殺対策計画（素案）について
	【質疑】
小林委員	① 資料⑧事業内容の（3）⑦本事業による助成を1回も受けていない方が対象であるというところと、（4）助成額などのところの助成回数が1回となっている部分についてなぜ1回としているのか、お伺いいたします。
	② 資料⑨応募がなかったことから、7年度の公募を検討していくとのことですが、7年度ももし公募がなければこのまま何年もかかってしまうことになりかねないと危惧しています。公募にはかる際に、公募の条件の変更などについても検討する必要があるのではないかと思います。ご所見を伺います。
	また、選定結果について、評価が高かった部分、低かった部分についてお伺いします。
小路介護福祉課長	① 今回モデル事業として実施する上で、どのような事業を展開していくのがよいのかを検討するものですので、まず初回で買っていた現状がどうか、どのような対象者がいるのかを把握するためのモデル事業としての一環で行うため、1回の助成としています。
	② 次年度の募集で公募がない場合の対応については、9期計画の中でこの施設とサービス料が必要ということで検討し、この三つの事業を公募していくと計画上行っていますが、状況によっては9期計画の変更や見直しを途中で検討しなくてはならないと考えていますので、その実態を踏まえ、再度検討していく方向にはなるかと思います。
	また、選定項目については15項目あり、全て点数は平均に到達していますが全体で見ると、資金計画が若干低めではありますが、一般的な評価を受けており標準の点数は得ています。また、地域に密着している事業ですので、介護保険に関する知識がある、整備、職員の配置、研修等々については点数が高くなっています。
小林委員	③ ①助成が1回だけだと、助成を受けて購入した補聴器が壊れてしまえば新しいものが買えずに、聞こえにくい状態に戻ってしまうということにもなりかねないと危惧しています。ぜひ本格実施のときには、1回だけではなく5年に1回などの条件も考えていただければと思います。ご所見あれば伺います。
小路介護福祉課長	③ モデルの期間として、皆様のご意見をいただきながら本実施に向けて、アンケート調査の結果を基に検討して参りたいと考えています。

矢野委員	① 資料⑧今後予算が揚がってくると思いますが、現時点で想定する予算の総額と推定の対象人数はどれぐらいを予想しているのか、お伺いします。
小路介護福祉課長	① 予算要求の段階で、今100名を対象に検討しています。予算については、100名にかかる限度額が5万ということなので、それに見合った額と、アンケート調査をさせていただき関係上、印刷や郵送の通信運搬費等が10万円弱を見込んでいます。
矢野委員	② 大体100名程度を見込む予算を考えているということですが、4月からの申込みは先着順になるのか、申込が多い場合抽選になるのか、伺います。
小路介護福祉課長	② 必要としている方がそれだけいるということであれば、補正してでも対応したほうがよいかと考えているところですので、状況を見ながら判断していきたいと思います。
野沢委員	① 資料⑧アンケートはどのようなものを想定されている内容になるのか。 ② 補聴器助成を受ける場合は、補聴器相談医の意見書が必要ですが、作成料は各補聴器専門相談医によってばらばらなのか、決まった金額なのか。補聴器専門医は市内の補聴器相談医に限るのか、お伺いします。 ③ 2年間のモデル事業ですので、令和7、8年度行い、アンケートを行い、ある程度のところまでいけば事業化できるという目安はどのように考えているのか、確認させてください。
小路介護福祉課長	① アンケートについては、補聴器を購入して使っていただいた結果、介護予防や社会参加の状況がどうかを中心にアンケート内容を構成する予定としていますが、他市で先行して行っている自治体があるので、どのような分析をされたかを参考に内容を詰めていこうと考えているところです。 ② 今想定しているのは、市内3か所の耳鼻科の先生が全て補聴器相談医の認定を受けていらっしゃるのので、市内の医療機関を想定しています。手数料については市で様式を作成し、それに基づいて記載を考えていますので、同じ意見書作成料を調整していこうと考えています。 ③ 本実施の目安については、9期計画の中でこのモデル事業を実施して分析を図り、10期計画がスタートするときに盛り込めたらとスケジュールを考えているところです。
佐藤障がい福祉課長	1) 報告事項終了 2) その他所管事務調査について 市内牧場における障がい者虐待に関する本市に対する訴訟の経過について報告いたします。 本件に関わる第6回口頭弁論が、本年11月18日月曜日に行われております。

	第6回口頭弁論では、原告らにおいては被告恵庭市の作為、不作為、権限不行使の違法性などについての内容の準備書面、被告恵庭市が職親制度を適用しなかった権限不行使などについての準備書面、それから被告恵庭市に対する反論の準備書面、このほか証拠書類、証拠説明書の提出があり、準備書面の用紙について原告代理人が口頭で説明しました。また原告らが調査囑託した回答書の提出がありました。本市におきましては、原告らの育英会の総会用に恵庭市福祉バスを障がい福祉課長を責任者として申請したとの内容について認否する準備書面を提出し、陳述いたしました。 今後の進め方についてであります。原告らにおいては、調査囑託の回答を受けた主張立証の追加を、令和7年2月7日までに提出する予定であり、裁判所からの確認では現段階ではこれ以上の主張の補充はないとしています。本市においては、原告らの準備書面についての主張反論の補充を、同じく令和7年2月7日までに提出する予定となっております。 なお次の第7回口頭弁論期日は、令和7年2月21日金曜日午後3時と指定されております。今後におきましても、事実と異なるとして争う点につきましては、本市の考えを主張して参りたいと考えております。 【質疑】 なし 日程4．保健福祉部関連終了 ●日程5．子ども未来部関連 1) 報告事項 資料説明⑩ 次期えにわっこ☆すこやかプランの骨子案について 資料説明⑪ 市町村中核子ども発達支援センターの認定更新について 【質疑】 資料⑩第2期から第3期にかけて追加事項のボリュームが多いということで、いつ頃素案ができて、どういう状況で報告いただけるのか伺います。 今回報告させていただいたのは骨子案で、これから第4章を追加した素案が策定される予定です。素案については、児童福祉専門部会でも報告させていただきたいと思っておりますし、この委員会でもまた改めて報告することができたらと考えていますが、今後部内でも調整し、皆さんに素案をお示しできる機会を設けることができたらと考えています。 ① 資料⑩第3章の施策の体系については、第2期のえにわっこ☆すこやかプランでは、結構な施策の体系がありましたが、それが第3期では少し凝縮されて
辰下子ども政策課長 吉川発達支援センター長	
前 田 委 員	
辰下子ども政策課長	
野 沢 委 員	

辰下子ども政策課長	います。これまであった施策の体系が第3期に凝縮されていると考えていいのか。また新たな考えになっているのか、お聞きしたいです。特に、読書活動の推進と安全安心のまちづくりの推進がなくなっており、どういう形でこれは集約されてここに反映されているのか、この意思是継がれているのかどうかについて確認させてください。
辰下子ども政策課長	① 資料の13-2について、第2期えにわっこ☆すこやかプランの施策目標と、新たなすこやかプランの施策目標の体系図を示しています。左が第2期、右が第3期となっており、左で据えていた施策目標については、新たな基本目標を新設し、そこに施策目標を新たに追加していますが、第2期の施策目標の全てについて網羅している形を示した新旧対照表のようなものになっていますので、第2期の施策目標の理念は第3期すこやかプランに集約しているところもありますが、全て網羅している計画になっています。
野 沢 委 員	恵庭の特徴である読書活動や子育て世代の部分については、しっかり今後も引き続いて取り組んでいただき、特に乳幼児からのブックスタートの関係など、特徴的な活動があるので、前面に出して活動していくことが大事です。できれば新しくなったところにも入っているほうが分かりやすいと思うので、今後もさらに検討していただければと思います。
宮 委 員 長	私から、1点確認させていただきたいので、副委員長と交代いたします。 (副委員長と交代)
宮 委 員	えにわっこ☆すこやかプランの今後の策定までの流れですが、骨子案が示されましたが、7年度からスタートするに当たっては、この後素案が示されて、その後また案が示されるのが通常の形だと思いますが、そのような段階を踏んで策定に持っていきたいという意図でいいのか、確認させてください。
辰下子ども政策課長	おっしゃる通りの流れで進めたいと考えています。 2) その他所管事務調査について 【質疑】 なし 日程5. 子ども未来部関連終了 (理事者・執行部退席) 【委員協間議】 ●日程6. 閉会中の所管事務調査について えにわっこ☆すこやかプランの進捗状況から第1回定例会に出すためには

	閉会中も厚生消防常任委員会の開催が必要か。 項目の一つは子ども子育て施策についてとする。 他の項目としてVRのゴーグルの体験はできるのか。 AR災害疑似体験アプリの導入について、委員会の日程が合えば行う。 1月27日（月）10時～次回、閉会中の厚生消防常任委員会を予定する。 ●日程7. その他 なし 委員長が閉会を告げる （12時17分 終了）
--	---